

# アイスリン・ヤネックによるワークショップ @甲南女子大学



## AKIRA ART ROOM

先日、六甲山サイレンスリゾートで実施した子ども向けワークショップでは、ユポとの出会いが自由な発想や伸びやかな表現を引き出す様子が印象的でした。一方、今回のワークショップでは、建築やインテリアを学ぶ学生たちならではの視点が随所に見られました。



制作中の学生たちとコミュニケーションを取りながら教室の中を歩きました。



とてもユニークな構成が印象的な作品！

学生たちは、インクがユポの表面で生み出す偶然の表現を楽しむだけでなく、紙面全体の構成や余白、モチーフの配置を意識しながら制作に取り組んでいました。また、インクの広がり方や色の重なりによる変化を丁寧に観察し、その動きを作品構成の一部として取り入れようとする姿勢が印象的でした。

ユポの持つ独特な素材特性が、自由な創造性だけでなく、デザインを学ぶ学生たちの観察力や空間把握力を引き出していたことは、今回のワークショップにおける大きな発見の一つでした。

## 開催概要

開催日時：2026年6月18日  
会場：甲南女子大学  
講師：アイスリン・ヤネック  
参加人数：23名

## ワークショップ内容

- 1) アイスリン自己紹介（10分）
- 2) プロジェクトの説明およびアイスリンによるデモンストレーション（20分）
- 3) プロジェクトスタート（50分）
- 4) クロージング（本日の感想+お掃除）（10分）

## 甲南女子大学 について

今回ワークショップを開催した甲南女子大学は、神戸・岡本の閑静な住宅街を見渡す丘の上にキャンパスを構える女子大学です。

1920年の創立以来、「品格と国際性を備えた女性の育成」を教育理念として掲げ、学生一人ひとりの個性や感性を大切にされた教育を実践しています。

神戸という街は、古くから海外との交流によって育まれてきた国際色豊かな文化を持ち、建築、インテリア、ファッション、アートなど多様なデザイン文化が根付いています。甲南女子大学もまた、そのような地域性を背景に、専門知識だけでなく豊かな感性や創造力を育む教育に力を注いでいます。



# ユポが生み出す色彩の魔法



今回のワークショップは、甲南女子大学社会学部 総合社会学科 生活環境学専攻のゼミにて開催いたしました。実現に向けてご尽力いただいた酒井先生と中西先生のお二人と一緒に。生活環境学専攻では、建築・インテリア・住環境デザインをはじめ、人々の暮らしを豊かにする空間づくりについて幅広く学んでいます。



同じ色の組み合わせでも作品の表情は三者三様に。



パープルが好きな学生さんでしたがパープルのインクがなかったので赤と青を混ぜてオリジナルの色をクリエイティブして描いた作品！

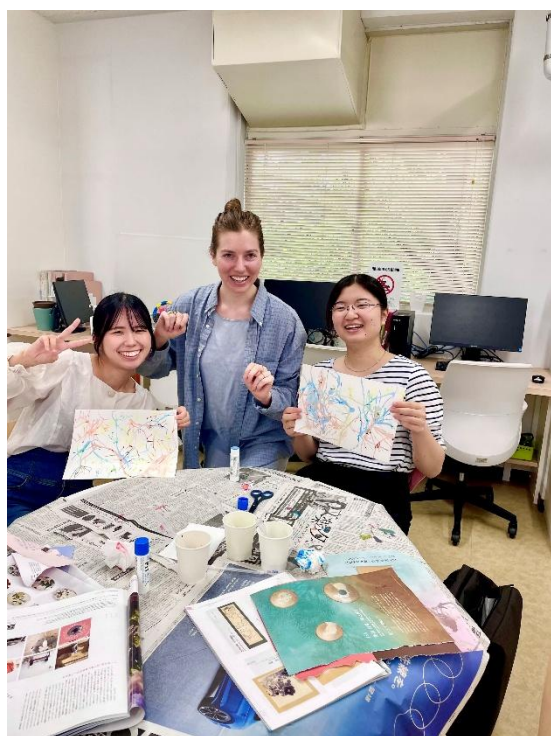
建築やインテリアの設計は、論理的な思考と同時に柔軟な発想力が求められる分野です。そのため今回のワークショップでは、完成形を目指して計画的に制作するのではなく、ユポの上で自由に広がるインクの動きと対話しながら表現を生み出していくという、普段の設計課題とは異なる創作体験に挑戦していただきました。



所々のインクのしぶきが作品に躍動感を与えていました！

学生たちは偶然生まれる色彩や形の変化を受け入れながら制作を進め、それぞれが独自の世界観を持つ作品を完成させました。

鮮やかな色彩感覚や洗練された構成力は、日頃から空間デザインを学ぶ学生たちならではの特徴でもあり、アイスリン自身もその完成度の高さに大きな驚きを感じていました。

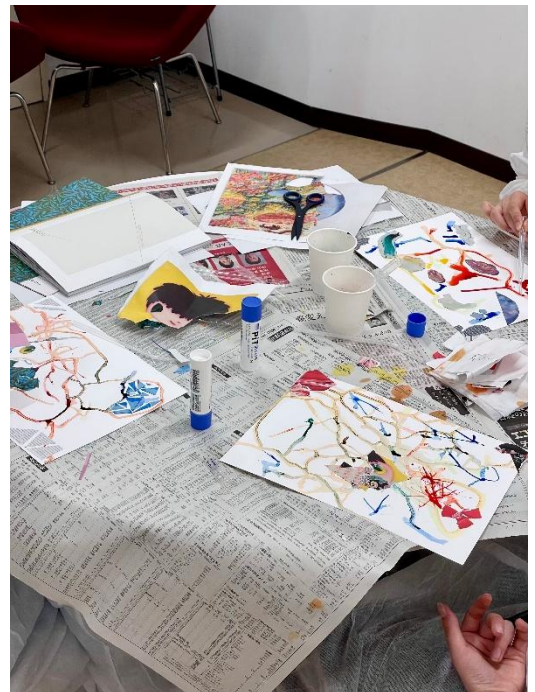


可愛い学生さんたちと出来上がった作品と一緒に記念撮影！



洋服がインクで汚れないように完全武装でワークショップに臨みました！

また、今回のワークショップでは、限られた数色のインクのみを使用しましたが、学生たちはユポの上で色同士を重ねたり混ぜ合わせたりしながら、多彩な色彩表現を生み出していました。



ユポの持つ非吸収の特性によって、紙面で色と色が出会い、混ざり合い、予期しない色彩の変化が生まれていきました。

学生たちはその変化を注意深く観察しながら制作を進めており、あらかじめ用意された色を使うだけでなく、自ら新たな色を創り出すプロセスそのものを楽しんでいる様子が見られました。

ユポの表面で繰り広げられる色彩の変化は、まるで素材が持つ小さな「魔法」のようであり、そこに学生たちの創造力と探究心が出会ったワークショップとなりました。